

【おい自然園 HP】



▲大井町の動物園や植物園、自然観察会、石、結果などを載せています。

自然NOWへの投稿



▲町内の身近な自然情報をお待ちしています。  
※撮影は横位置で

神奈川県立生命の星・地球博物館学芸員 渡辺恭平

冬になり、落葉して見通しがよくなった雑木林を歩くと、クヌギやコナラの枝先に鮮やかな緑色の繭まゆがぶら下がっていることがあります。これはウスタビガというガの仲間が作ったものです。晩秋にまゆから外に成虫が出てきますが、繭の「から」はそのまま木について残ります。この繭はその独特の形が、わらで作った袋「かます(吠)」に似ているため、やまかます(山吠)とも呼ばれます。



▲ウスタビガの成虫 雌  
写真提供：秦野市くずはの家



▲ウスタビガの繭

ウスタビガは、つくとキイロと音をたてる幼虫や、美しい模様とモフモフとした体をもつ成虫からも、愛好家に人気があります。県内では緑が豊かな場所でのみ見られ、大井町でも健在です。冬のハイキングの折に、探してみたいいかがでしょうか。

おい自然園

ウスタビガ

No.137